

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	教育学研究科
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 教育学研究科のアドミッションポリシーを受験生に明示し、研究科の目標と内容の理解を徹底する。	→「募集要項等におけるアドミッションポリシーの明示の有無と研究科委員会構成メンバーへの周知」「受験生との事前相談の実施」「PR活動の検討と実施」	B
2. 研究科のアドミッションポリシーの研究科教員への周知を徹底する。	→「研究科委員会でのアドミッションポリシーの確認」	C
3. 教育学研究科の理念に基づき、収容定員を過不足無く確保するよう努力を行う。2010年度から実施の特別推薦入学試験を適切に実施する。	→「研究科委員会での検討と関係する委員会の設置」「大学院入試委員会の開催頻度」「特別推薦入学制度による入学者数」	C
4. 教育学研究科の理念と研究者養成のアドミッションポリシーに基づき、完成年度以降の入学者選抜について検討を開始する。	→「研究科委員会での検討と関係する委員会の設置」	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目5.0.1	(方針) 教育学研究科のアドミッションポリシーを受験生に明示し、研究科の目標と内容の理解を徹底する。  (現状説明) 入試要項には明示を行っており、事前相談は適宜行っている。PR活動については現聖和大学4年生には全員に入学の案内を配布した。
☆ 小項目5.0.2	(現状説明) 聖和大学大学院前期課程が今年度で終了するため、大学院担当教員の任用を進めている。大学院担当教員決定後、再周知を行いたい。
☆ 小項目5.0.3	(現状説明) 「入試要項」を作成した。特別推薦入学制度は今年度よりの募集であるので、できる限り質を落とさず定員を確保したい。広島女学院大学からの特別推薦者には必ず事前相談義務づけている。また、聖和大学の特別推薦者の学生にも条件をつけて応募させている。
☆ 小項目5.0.4	(現状説明) 入試後、研究科委員会で検討を行った。
☆ その他	

## 《特定6項目データ》

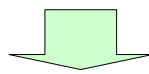
本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【教育学研究科】		前期/後期課程	単位	2006	2007	2008	2009	2010	備考
指標1	入学者に占める一般入試入学者の比率	前期課程	%				33.3%	0.0%	一般入試入学者数÷入学者数
		後期課程					33.3%	100.0%	
指標2	志願者総数	前期課程	人				4	4	
		後期課程					2	2	
指標3	志願者倍率	前期課程	%				66.6%	66.7%	志願者÷入学定員
		後期課程					66.6%	66.7%	

## ◎効果が上がっている事項

## 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
☆ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	



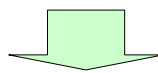
## 【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
☆ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

## ◎改善すべき事項

## 【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	研究科委員会で、次年度に向けて、説明会等の検討が必要。
☆ 小項目5.0.3	特別推薦は今年度が初めてなので、結果について検討が必要。
小項目5.0.4	新しく任用した教員も含めての研究科委員会で検討が必要。
その他	



## 【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	説明会の開催と教員の自己研鑽。
☆ 小項目5.0.3	入試結果の積み重ねを行い、それを研究科委員会で検討する。
小項目5.0.4	入試後の研究科委員会での検討の続行
その他	

## ◎自由記述

## 【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】

★ その他  
(自由記述)

## Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

## 【学外委員】

○収容定員に対する学生数の比率が、前期課程で0.50、後期課程で0.33と低くなっており、今後の対応策の強化が求められます。(例えば現在の初等・中等教育の教師などへの働きかけなどの施策の可能性はありますか)

## 【学内委員】

○大学院に関するHPが十分な内容でないと思われます。また、HPにある教育学研究科の大学院入学試験要項の記載内容は理念と人材養成の目的が主に記されており、学生の受け入れ方針を明示したアドミッションポリシーとは言いがたいと思われます。内容の再検討が必要ではないでしょうか。

## Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

5.0.1「改善すべき事項」に下記のように追記。  
アドミッションポリシーのHPでの提示が必要である。

5.0.3「改善すべき事項」を下記のように修正。  
特別推薦は今年度が初めてなので、結果について検討が必要。また定員確保のためのPR活動を強化する必要がある。

★ 5.0.1「改善方策」に下記のように追記。  
アドミッションポリシーをHPに提示する。

5.0.3「改善方策」を下記のように修正。  
入試結果の積み重ねを行い、それを研究科委員会で検討する。在学生や社会人向けのPR活動を強化する。

## Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

5.0.0.S1	学生の多様性の確保－入試形態数と入試形態別入学者の割合
5.0.0.S2	各学部での募集人員のうち、一般入試(センター利用入試を含む)の割合
5.0.0.S3	地域別入試会場別志願者数、受験者数、合格者数、入学者数
5.0.0.S4	入試講評(問題と正解、正答率とそのコメント)の公表とその頒布数
5.0.0.S5	AO入試の受験者数と入学者数
5.0.0.S6	社会人学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S7	専門職大学院(KGPS)の受験者数および入学者数
5.0.0.S8	科目等履修生(教職免許状および博物館学芸員資格取得を含む)の入学者数
5.0.0.S9	聴講生の入学者数
5.0.0.S10	留学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S11	国別留学生数(学部別、研究科別)の経年変化
5.0.0.S12	学部における収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S13	学部における入学定員に対する入学者比率
5.0.0.S14	編入学定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S15	博士課程前期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S16	博士課程後期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在学学生数比率
5.0.0.S17	学部・学科の退学者数
5.0.0.S18	学部・学科の編入学者数

<個別的な指標>
